

yamada@tku.ac.jp

連続ラジオ・フォーラム(第5回)

**府中コミュニティ FM  
番組編成の理想**

山田 晴通 (東京経済大学)  
yamada@tku.ac.jp

2018.04.07.

# これから話すこと

今日はコミュニティ放送について、4つの観点からお話しします。

# これから話すこと

- 1) 日本におけるコミュニティ放送の**歴史**から
- 2) コミュニティ放送の**多様性と共通した困難**
- 3) **災害情報**伝達媒体としての近年の動向
- 4) **番組編成**に現れる多様性

⇒ **番組編成の理想** ?

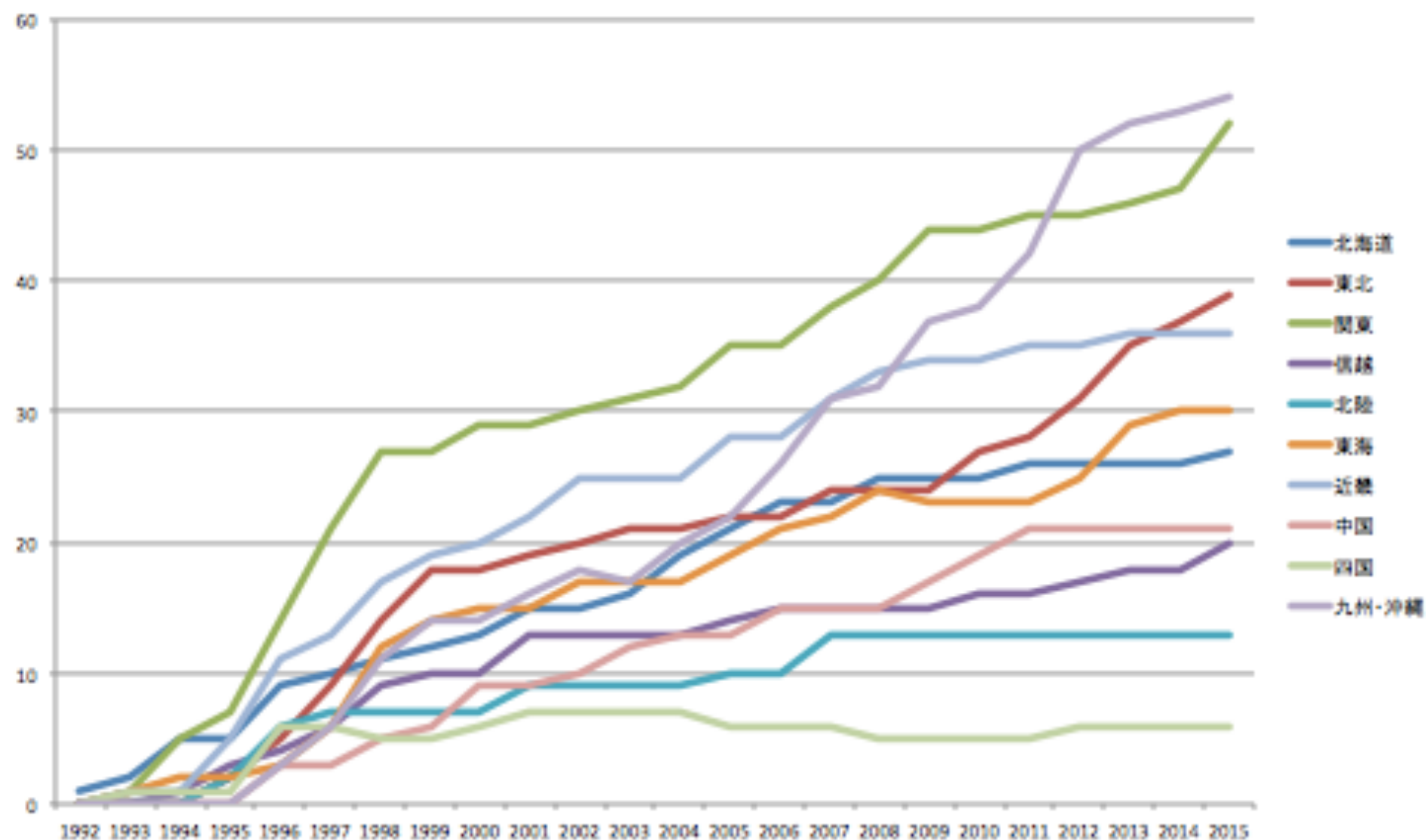
# コミュニティ放送の歴史から

- 日本におけるコミュニティ放送の歴史
- 前史としてのミニFMブーム
- 1988年、臨時目的放送局の制度化
- 1992年、コミュニティ放送局の制度化  
→ FMいるか(函館市)開局

# コミュニティ放送の歴史から

- 現時点では、全国に314局ないし317局のコミュニティ放送局が存在している。
- 出力は、当初の1Wから、10W/20Wへと引き上げられ、例外的にさらに大出力が認められている例もある。

# 各年度末における放送中の局数







# 阪神・淡路大震災の影響

- コミュニティ放送の歴史において、1995年の阪神・淡路大震災が、コミュニティ放送の存在意義に社会の注目を集め、ひとつの大きな転換点となったことは、しばしば指摘されている(田村・染谷, 2005, p.37: 金, 2012, p.36: 北郷, 2013, p.247)。
- 臨時災害放送局の導入もこのときから。



# 東日本大震災の影響

- 既に制度導入から一定の時間を経っていたこともあり、全国的にみると阪神・淡路大震災ほどのインパクトは与えなかった。
- 広範囲に被害が及んだことで、局地的な被害の地震に比べると影響は大きかった。
- 東北のみならず、東海などでも普及を加速させた。

# 九州における伸長の背景

- 九州・沖縄における局数の拡大は、もっぱら沖縄県、鹿児島県における急増によって支えられている。
- 沖縄県：立ち上げに要する資金水準の低下に伴う「遅れてきたブーム」の様相
- 鹿児島県：NPOのネットワーク方式  
仕掛けたのは大山氏

# コミュニティ放送の歴史から

- 普及過程は地域ごとにばらつきがある
- 制度化から間もなかった阪神・淡路大震災は、普及を大きく後押しした
- その後の大災害の影響は、地域限定的
- 他の要因で普及が急に進むこともある

# 多様性と共通した困難

- 実はあまり意味のない分類  
特に「第三セクター」の定義は曖昧
- 「商業放送」としての性格の強弱  
本当の意味で利益を出している局はあるのだろうか？  
⇒ 見解は分かれるが、極めて例外的にし  
かあり得ないというのが山田の立場

# 多様性と共通した困難

- 多くのNPO局(全てではない)
    - 諸外国のコミュニティ放送のコンセプト
    - 「市民ラジオ」指向
    - 非営利を前提
    - 手作り、低コスト、自立
    - 総務省も一定の配慮
- 放送法の2010年改正(2011年施行)  
以降は「基幹放送」としての責務

# 多様性と共通した困難

- 自治体からの資金の位置付け  
名目上の組織の性格だけではわからない依存の程度
- 多様な名目での資金の流れ  
広報  
防災協力  
放送以外のイベント事業など



# 多様性と共通した困難

- コミュニティ放送局の多様性は  
「タニマチ」の多様性？
- 特定の企業（個人？）
- 自治体
- 多数の市民
- 従業者

コミュニティ放送はブラック企業？

# 災害情報

- 阪神・淡路大震災（1995年）  
情報化した都市社会の被災
- 放送法改正（2010年）
- 東日本大震災（2011年）
- 国土強靱化大綱（2013年）

一貫した防災体制強化への動き

# 災害情報

- 防災行政無線偏重の傾向

デジタル化による負担増



実際の災害局面における問題

- 即時伝達媒体の複線化

低コストの選択肢としての

コミュニティ放送

# 災害情報

- 一方では、行政主導の開局の動き
- コミュニティ放送局の側から行政への  
経済的支援に対する期待

# 番組編成の多様性

- 番組編成の標準的な形と多様性
- 平日の生放送帯番組
- フィラー(埋め草)の考え方

# 番組編成の多様性

- 局の責任で編成する番組へ広告を集める
- 放送番組単位で時間枠を「売る」形
- パブリック・アクセス番組・時間枠

- 2018年4月7日 午後1時半～4時
- 府中市市民活動センター「プラッツ」
- 第3会議室にて